

社協だより No.253 10月 2017

平成29年度福祉講演会 (稲美町自殺予防対策事業との共催)

「あるがままとなすがまま」 ～ふくし哲学、生老病死を通じて 「じぶん」を再発見！～

「生きる」とは、「老いる」とは、... こころの健康や人生の实在について考えてみませんか？

- 講師 神戸女子大学 講師 **阿江 善春 氏** (あえ よしはる)
- とき 平成29年11月6日 (月) 13:30~15:00 (受付13:00~)
- ところ 稲美町いきがい創造センター (稲美町国岡1-1) 2階 多目的ホール
- 対象 どなた様でもお越しください
- 申込 不要
※託児が必要な方は予約要
先着5名まで
10月30日(月) 締切



【阿江 善春氏プロフィール】
 神戸女子大学 (管理栄養士養成課程・社会福祉士養成課程) 講師
 姫路医療センター附属看護学校 (看護師養成課程) 講師
 近畿大学豊岡短期大学 (社会福祉士養成課程) 講師
 大阪保健福祉専門学校 (精神保健福祉士養成課程) 講師
 兵庫県高齢者生活協同組合 理事長
 兵庫県人権問題研究所 副代表理事
 ※専門分野は、保健・医療・福祉等にとどまらず、東洋哲学・比較思想・宗教哲学など幅広く研究されている

日ごろ使える
ちょっとした福祉の
心得について

おもしろ哲学の
スパイスに触れてみて

こころの健康と
自分自身の生き方について

ボランティアページ no.147

VOICE
善意銀行では、みなさまの温かいお気持ちを金銭や物品でお預かりしています。
(※1)(※2)
大池まつりの模擬店売上よりご寄附いただきました。

善意の預託ありがとうございました (平成29年8月受付分)

	氏名(敬称略)	金額	内容
金銭寄附	ADEKA労働組合	¥20,000	寄附
	稲美町役場お楽しみクラブ(※1)	¥3,000	寄附
	(有)長石造園(※2)	¥20,000	寄附
物品預託	匿名	¥50,000	粗供養
	氏名(敬称略)	物品	内容
	匿名	介護用品	寄附

被災地支援 募金は身近にできるボランティア

稲美町共同募金委員会(稲美町社会福祉協議会)では、以下の義援金の受付をしています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「平成29年7月大雨災害義援金」
平成29年7月5日からの大雨により福岡県、大分県で被災された方を支援するための義援金です。
■受付:平成29年12月28日(木)まで

「平成28年熊本地震義援金」
平成28年4月14日に発生した地震により被災された方を支援するための義援金です。
■受付:平成30年3月31日(土)まで

※直接指定口座に振込みをすることも可能です。
※義援金は所得税控除の対象となります。

■受付日時■
月~土曜日8:30~17:15 祝日除く

■受付場所■
障害者ふれあいセンター1階
社会福祉協議会事務所
稲美町加古4369-3
TEL492-8668
FAX492-9170



♪我が家のスマイル リレーでつなごう♪ スマイルバトン NO.87

みんな元気に育ってね!



小山 颯太くん(12歳)
稜生くん(8歳)
莉瑚ちゃん(1歳)
莉奈ちゃん(8か月)



朝見 篤人くん(5歳)
藍子ちゃん(8歳)
綾子ちゃん(1歳)



米田 真実ちゃん(7歳)
誠志くん(8歳)

これからも元気いっぱい、笑顔いっぱい育ててね♡

いつまでも 仲の良い二人でいてね♡

社協のつなごう ボランティアセンターでは、シニア世代のボランティアさんが多数登録されています。ボランティア活動の他にも、地域活動やスポーツ、趣味や旅行とアクティブに過ごされていて、皆さんとてもお元気です。また、いつもおしゃべりにされている女性ボランティアさんに若さや綺麗な秘訣を教えてください。ボランティア活動をしていると、普段は出会えない人と会うことができ、色々な情報を得ることもできますよ。いいことづくめのボランティア活動、皆さんもはじめてみませんか。(MY)

法律相談 原則毎月第2木曜日13時30分~15時30分 障害者ふれあいセンター 前日正午までの予約要(先着4名) 079-492-8668まで
 心配ごと相談 原則毎月第1・3・4木曜日13時30分~14時30分 予約不要(第1木)総合福祉会館(第3木)母里福祉会館(第4木)障害者ふれあいセンター

オープンカフェ 原則毎月第2金曜日 10時~11時30分 障害者ふれあいセンター フリードリンク100円
 善意銀行 随時 ■福祉会費 毎年6月 ■共同募金 毎年10月1日~12月31日 ■歳末助け合い募金 毎年12月 いつもあなたがかいご協力ありがとうございます

運動期間 10月1日～12月31日

赤い羽根は、小さなことをしています

小さな活動は目立ちにくい、それでも赤い羽根共同募金は
これからも「困ったときはおたがいさま」の精神で
「小さな問題」にも心を配って活動していきます。

10月1日から「助け合い」の精神に支えられてきた「赤い羽根共同募金」が始まります。この運動は、唯一、法律（社会福祉法）によって定められた地域福祉推進のための募金運動です。

脈々とつづく地域の助け合いは、社会構造の変化を受けて、社会保障制度として確立されたもの（介護保険制度など）もありますが、その社会保障制度からもれてしまう、あるいは、社会保障制度になじみにくい生活課題を支えているのは、依然として「地域の助け合い」です。

「おかげさま」「おたがいさま」で 共同募金は70年

共同募金運動は、70年という長期間にわたり、その時代の生活課題と向き合い、住民同士の助け合い活動を支援してまいりました。今日のように厳しい状況下であるからこそ、これまで培われてきた寄附文化を継承し、住民参加による町づくりを目指していくことは大変重要であり、共同募金はその活動を支える中核的な役割が求められています。

募金活動は、身近にできる地域活動・ボランティア活動です。
今年も皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

www.akaihane.or.jp

●赤い羽根データベース「はねと」をご覧ください。



編集発行／問合せ・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間)月～土(日祝以外) 8:30～17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です



(右) 1947年(昭和22年)第1回共同募金運動のポスター

(左) 11月25日から1か月間実施された第1回「社会事業共同募金運動」

第1回共同募金総額は、5億9000万円(現在の貨幣価値に換算すると約1200～1500億円ほど)。

労働者の平均賃金1950円、郵便はがき50銭、お豆腐1丁1円、理髪料10円の時代でした。

当時は、住まいを焼かれたり、親をなくした孤児たちのためのさまざまな活動の支援に重点がおかれました。



平成28年度のつかいみち

	配分事業(団体)	配分金(円)
ボランティア講座・研修	・手話講座 ・夏休みボランティアスクール ・傾聴ボランティア講座	315,480
交流事業	・朗読ボランティア講座 ・聴覚、視覚障がい者交流会	306,065
啓発事業	・社協福祉ボランティアまつり ・社協だより発行 ・社協パンフレット発行 ・福祉教育指定校事業(小学校、中学校、幼稚園) ・人権福祉フェスティバル	2,208,320
団体助成事業	・障がい者団体等6団体へ助成 ・ボランティアグループ等22団体へ助成	350,000 1,533,627
生活支援事業	・生活支援サポーター養成講座 ・地域生活支援事業「おたがいさん」 ・介護機器無料貸出事業	85,057
その他	・母子父子家庭小学校入学祝 ・印刷機の貸出(自治会活動、ボランティア活動等)	227,451
合 計		5,026,000

編集発行／問合せ・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間)月～土(日祝以外) 8:30～17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

相談支援事業所(町内在住の障害をお持ちの方の自立支援について) 相談随時 ますはお電話ください(月～金 9時～17時 祝日除く) 070-2289-3620まで

ほっとファミリー(認知症を学ぶ会) 原則毎月第4木曜日10時～12時 障害者ふれあいセンター 1階 079-492-8779まで

赤い羽根共同募金で実施します

第15回 社協福祉ボランティアまつり

～ひとりぼっちをつくらない地域づくり～

このおまつりは、ボランティア、団体の皆さまのご協力に支えられています



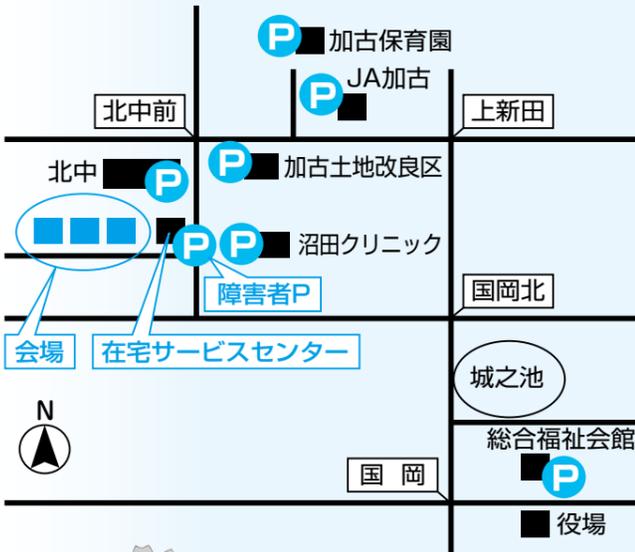
兵庫県共同募金会マスコットあかはねちゃん

11/3
金・祝

10:00~14:00

障害者ふれあいセンター
(加古4369-3)

※出店内容は変更する場合があります。



できるだけマイクロバスをご利用ください。降車したらすぐに会場です！

7:20~マイクロバスが随時運行しています
(会場⇄総合福祉会館)

- ◆ほっこり太鼓 (らいふサポートくるみ) ◆絵本読み聞かせ (あすなろ会)
- ◆南京玉すだれ (ポンポコ座) ◆太鼓演奏 (ワークルームふれあい)
- ◆作品展 (NPO法人七色のとうがらし) ◆社協事業紹介
- ◆防犯パトロールカー展示 (防犯パトロール隊)
- ◆盲導犬との交流&デモンストレーション (稲美ライオンズクラブ)

NEW まねっこ体験してみよう! (手をつなぐ育成会)

知的障害や自閉症の世界を体験できます

～知的障害がある人ってどんな気持ち?どんなことで困っているのかな?～

【育成会からメッセージ】

自分とは違ういろんな感じ方、とらえ方をする人がいます。この機会にぜひ体験してみてください。「知る」ことが「理解」へ、「理解」が「支援」につながります。

【体験者の声】

「目からウロコ」でした!! 体験してみることをオススメします!!

- ◆花苗 (花一輪まちづくりの会) ◆竹製品 (のじぎく会) ◆恐竜の卵づくり (ポンポコ座)
- ◆じゃんけんゲーム (要約筆記「ひだまり」) ◆将棋対局 (「いなみ将棋塾」指導ボランティア)
- ◆フリーマーケット ◆パソコンコーナー (いなみ会) ◆マッサージ (有志V)
- ◆さをり織り体験 (らいふサポートくるみ) ◆クラフトコーナー (ガールスカウト)
- ◆ヨーヨー (防犯パトロール隊) ◆作業体験 (作業療法士会)
- ◆マット編み体験 (ワークルームふれあい) ◆車いすでできる金魚すくい (東播建設労働組合)
- ◆形で遊ぼう (ゆるり家) ◆バザー (あすなろ会/こぼと園家族会) など

- ◆うどん (いなみ会) ◆焼きそば (リハビリボランティア/稲美ライオンズクラブ)
- ◆ポテちく (いきいきサロンボランティア) ◆ポン菓子 (稲美町福祉委員会)
- ◆豚汁 (きっかけの輪づくり応援団金のわらじ) ◆おでん (給食ボランティアふきのとう)
- ◆ぜんざい (施設ボランティア) ◆かやくご飯 (防犯パトロール隊)
- ◆ホットドッグ (点訳サークルすみれ) ◆フライドポテト (稲美ポンポン隊)
- ◆お好み焼き (稲美町手をつなぐ育成会) ◆クッキー (こぼと園/播磨サナトリウム)
- ◆フランクフルト・マフィン (ガールスカウト) ◆焼鳥 (稲美町美術協会)
- ◆さつま芋スティック揚げ (セブテンパー⑥/NPO法人つくしとすぎなの会)
- ◆たこ焼き (十七丁たこ焼き隊) ◆パン (まほろば)
- ◆野菜販売 (NPO法人ゆうゆう加古っち/障害者支援センターてらだ) など

被災地NGO協働センター

NEW まけないぞう販売&被災地応援市 (稲美町民生委員・児童委員協議会)

▼KOBEO発 「まけないぞう」20周年



「まけないぞう」とは...

1995年1月17日の阪神淡路大震災の後、「生きがい協働事業」としてスタートし、今年で20年となりました。全国の方々からの「一本のタオル運動」を通して、善意のタオルを被災者がぞうの形をした壁掛けタオルに変え、全国の皆様に販売しています。一つ作るごとに100円が被災者の収入となり、この「まけないぞう」を通して、心のキャッチボールをし元気や勇気を感じています。被災地KOBEOから痛みの共有として国内外の被災地へ届けられています。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地でも「まけないぞう」が作られ、被災者の心の励みとなっています。

編集発行/問合・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

編集発行/問合・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

■法律相談 原則毎月第2木曜日13時30分~15時30分 障害者ふれあいセンター 前日正午までの予約要(先着4名) 079-492-8668まで

■心配ごと相談 原則毎月第1・3・4木曜日13時30分~14時30分 予約不要(第1木)総合福祉会館(第3木)母里福祉会館(第4木)障害者ふれあいセンター

■オープンかふえ 原則毎月第2金曜日 10時~11時30分 障害者ふれあいセンター フリードリンク100円

■善意銀行 随時

■福祉会費 毎年6月

■共同募金 毎年10月1日~12月31日

■歳末助け合い募金 毎年12月

いつもあたたかいご協力ありがとうございます

ボランティアページ no.147

VOICE

皆さまからの福祉会費で実施する事業です

10月のオープンかふえでは、新企画の「紙芝居かふえ」を開催します。大人が楽しめる紙芝居をぜひお楽しみください。

毎月第2金曜日は、杜協オープンかふえ

- 10/13(金) 秋の大人の絵本かふえ (らくちん座)
- 11/10(金) ハーモニカかふえ (演奏:クスクスのみなさん)

- ◆とき 原則毎月第2金曜日 10:00~11:30
- ◇ところ 障害者ふれあいセンター 2階 多目的室
- ◆利用料 フリードリンク 100円 (お茶菓子付)

わだい

◆8/30(水) 給食ボランティア
調理室清掃 & 衛生研修
参加: 給食ボランティア25名



▲いきがい創造センター調理室(役場敷地内)のボランティア清掃をしていただきました。



▲清掃後は、衛生管理研修を実施し、食中毒等について学びました。

毎年清掃していただき誠にありがとうございます

◆8/31(木) 視覚障害者交流会 参加: 8名



【参加者の声】
・こういう機会があると楽しいし、人とつながれるので嬉しい。もっとたくさんの方に参加してもらえたらと思う。(女性参加者)

▲ニュースポーツ(カローリング・ピンボリング)で楽しい時間を過ごしました。

◆8/31(木) 地域生活支援事業



【サポーターの声】
・できることがあればお手伝いしたいと思います。

▲植木の伐採(依頼者:高齢女性) サポーターに教えて頂きながら実習生2名もお手伝いしました。

《地域の皆様お世話になりました》

社会福祉士現場実習生より

稲美町社会福祉協議会で実習させていただき、感じたことは、「稲美町住民のあたたかさ」です。いきいきサロンに参加させていただいている時には、「実習がんばれ!!」の声をかけてくださったり、地域の方々から勇気をいただくことがたくさんありました。

また社協職員の皆さんにも見守っていただいて、24日間の実習を終えることができたと思います。

これからも稲美町で学んだことを活かして社会福祉士になりたいと思います。ありがとうございました。

(神戸医療福祉大学 溝口昇真)

社協での実習を通して、さまざまな活動に同行・参加させていただき、大学の講義だけでは学ぶことのできない様々な経験ができました。ボランティア活動、当事者会の方との関わり、社協での事業など初めてのことが多いなか、迷うこともたくさんありましたが、初めてだからこそその学びもたくさんあったので、とても充実した26日間になりました。

実習の中で特に、当事者に一人の支援者だけで関わるのではなく、社協の職員の方、関係機関の方、本人、家族、地域住民など、様々な方が関わって支援が成り立っており、人と人とのつながりの大切さを学ぶことができました。今回学んだことを今後の勉強に活かし、社会福祉士になれるよう頑張ります。ありがとうございました。

(兵庫大学 和田香織)

編集発行/問合・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です

ふくし豆知識

注目されています「終活」

～終活の第一歩は、「エンディングノート」から～

近年、年代に関わらず注目されている「終活」について考えてみませんか?

終活とは、いつか訪れる人生の終焉に向けて、誰もが抱く様々な心配ごと(相続、保険、お墓、お葬式、治療など)についての「思い」や「願い」を残すことで、ご自身の不安を解消し、また家族の混乱や悲しみを和らげることに繋がるものです。



その「思い」や「願い」、また「家族のために必要なメッセージ」を残しておくものとして活用されているのが「エンディングノート」です。

このノートは、ご自身の“生きてきた証”となり、家族のために必要な“あなたの人生”を残しておくものとして活用されています。

さらに、終活をすることで、“命の大切さを見直す”ことができ、“残された人生において今のようなことをすべきか”を考えるきっかけともなります。

11月号で
詳しくお知らせ
します

11月24日(金) 10:00~12:00開催

『老い支度を考える講座』

講師: 宮本 三鈴氏(司法書士)

場所: 障害者ふれあいセンター

2階 多目的室(稲美町加古4369-3)

参加無料・申込みが必要です

VOICE

エンディングノートと混同されやすいものが「遺言書」です。

エンディングノートには法的効力がないため、財産については、「遺言書」で伝え、葬儀についての希望や余命宣告、脳死状態になったときなどの考えは「エンディングノート」で伝える、などそれぞれの特徴を活かした活用ができます。

募集 第15回 杜協福祉ボランティアまつり

【フリマ出店者募集】

(受付数) 10店舗

(出店者対象) 稲美町在住の方

- ・業者の方はご遠慮ください。
- ・食料品の販売はできません。
- ・車を駐車しての出店ができません。(搬入は可)

(出店料) 1,000円(共同募金として納めさせていただきます)

TEL(079-492-8668)またはFAX(079-492-9170)にて受付

受付10月2日(月)
午前9時~先着順

【着ぐるみボランティア募集】

着ぐるみでまつりを盛り上げてくださる方を募集します。
30分程度の交代制です。

★兵庫県共同募金会マスコット「あかはねちゃん」

(募集) 150cm~165cmくらいの方、5名程度

(持ち物) 汗拭きタオル、着替え(長袖長ズボン)、髪留めなど



相談支援事業所(町内在住の障害をお持ちの方の自立支援について) 相談随時 ますはお電話ください(月~金 9時~17時 祝日除く) 079-492-2289-3620まで

ほっとファミリー(認知症を学ぶ会) 原則毎月第4木曜日10時~12時 障害者ふれあいセンター さくら草の会(介護者の会) 原則毎月第4金曜日10時~12時 障害者ふれあいセンター 介護相談・認知症相談 相談随時 ますはお電話ください(月~金 9時~17時 祝日除く) 079-492-1877(79まで)

編集発行/問合・申込) 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3 障害者ふれあいセンター1階
TEL079-492-8668 FAX079-492-9170 Eメール inami-shakyo@bb.banban.jp
(社協事務局 開館時間)月~土(日祝以外) 8:30~17:15

※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、すべての市町村に設置されている住民の立場から福祉を推進する団体です